



# 日本とウズベキスタンの懸け橋になる人材

一般社団法人グローバル人材ネットワーク

アクラモフ ボブル

AKRAMOV BOBUR

# 自己紹介

名前: アクラモフ ボブル

nickname: Bob

年齢: 30歳

在日期間: 5年

2016～2018年 広島大学 (国際協力研究科)

2017年 YUME日本語学校 設立 (ウズベキスタン)

2019年 MIGO送り出し機関 設立 (ウズベキスタン)

2019～現在 株式会社バルコム





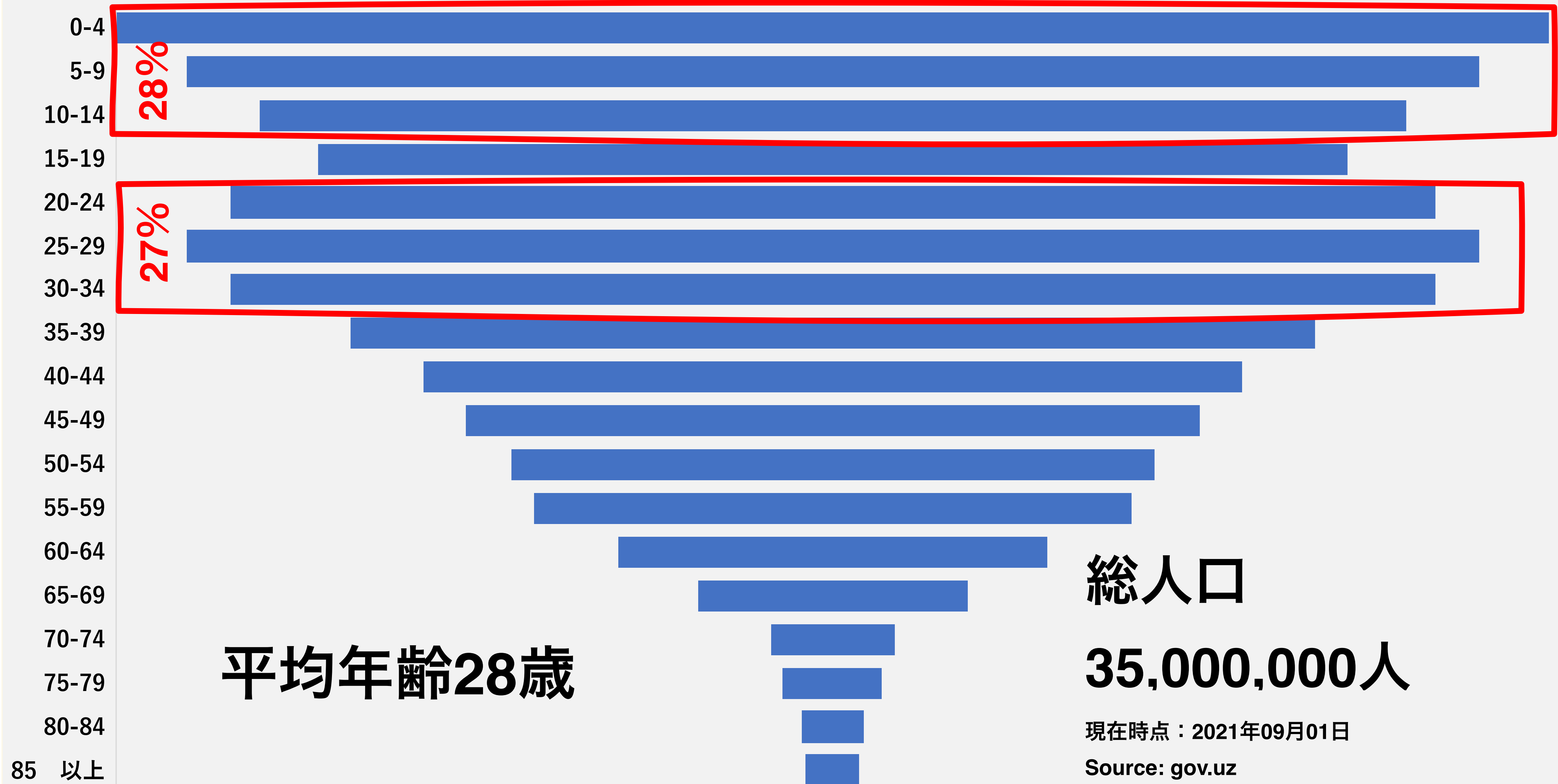
**ウズベキスタンから日本：5,500キロ**

**シンガポールから日本：5,300キロ**

# 社会課題

## 2021人口ピラミッド

年齢



28%

27%

平均年齢28歳

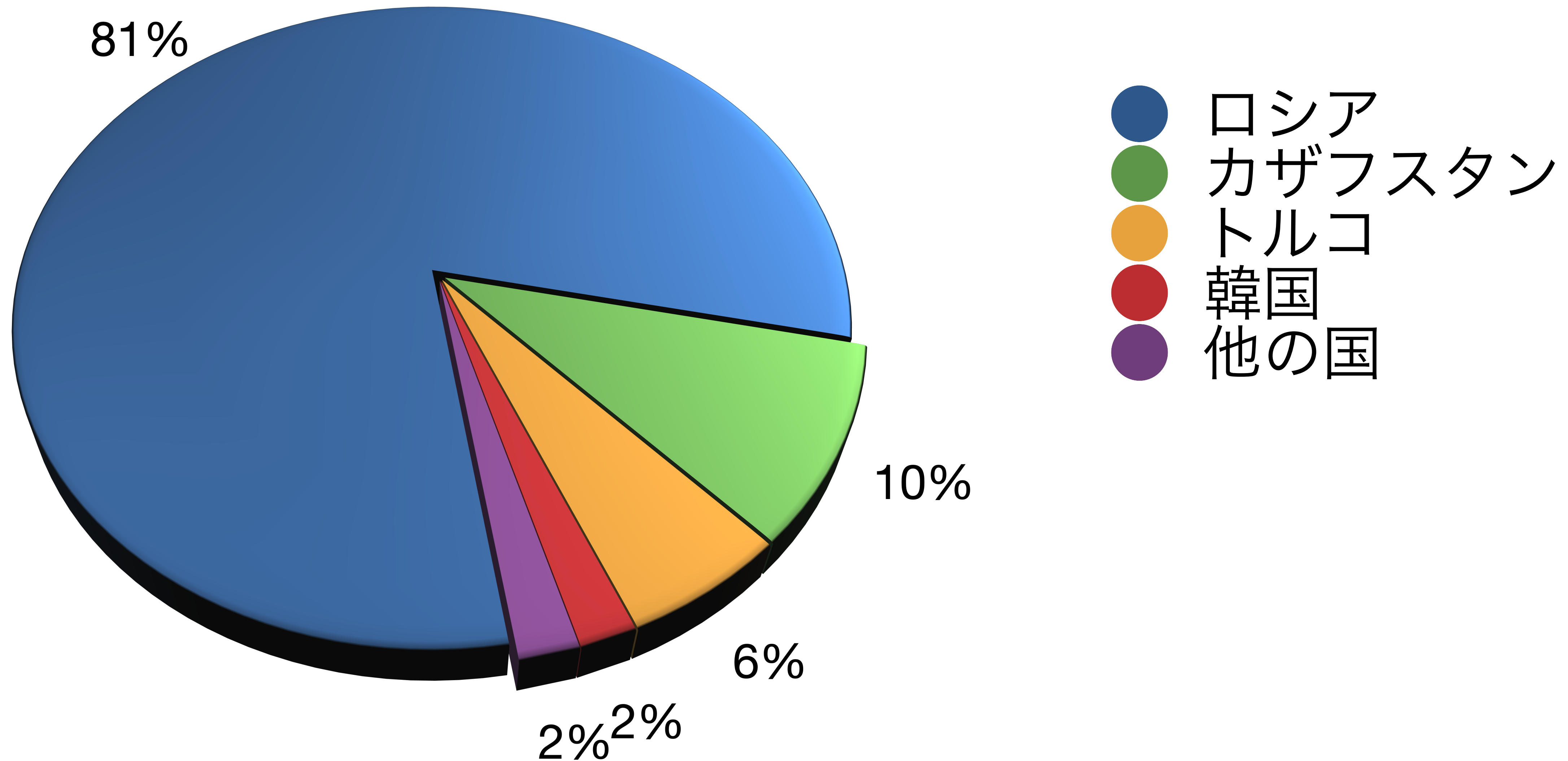
総人口

35,000,000人

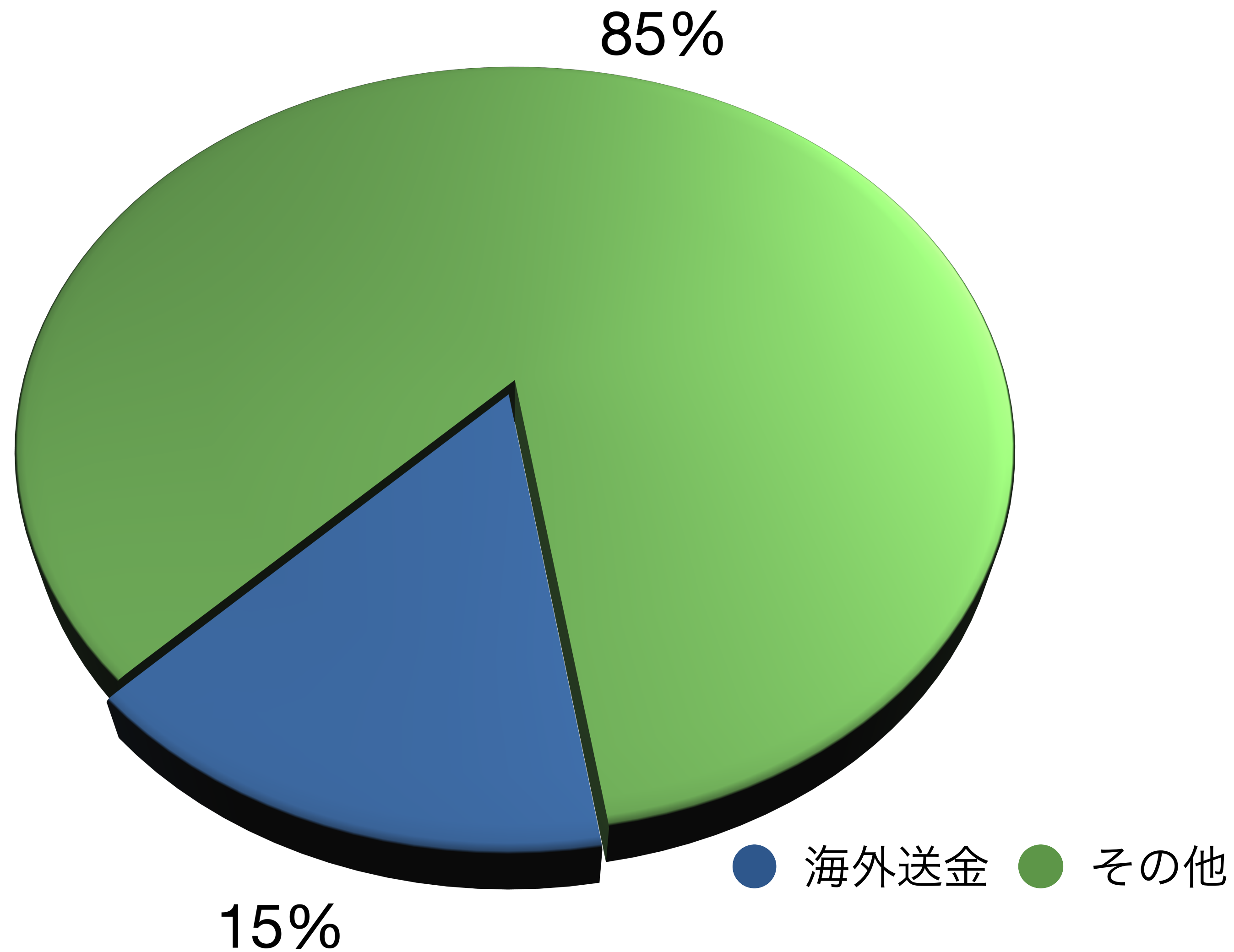
現在時点：2021年09月01日

Source: gov.uz

# 海外で働いてるウズベク人（総数：238万人） 2018年



# GDPの15%は出稼ぎ労働者等による海外送金が占める



# 現在の問題



ー仕事が少ない



ーブラック企業



ー給料が少ない



ーViolence

# SOCIAL MISSION



チャンス探してる若者たちにチャンスを提供する仕組みを作り、  
彼らの人生のターニングポイントになる支援をすること



# 事業コンセプト



## 誰に

ウズベキスタンの日本に行きたい、20代の主に高校卒業して、熱心がある若者たち



## どんな価値 (KBF)

- 日系企業に熱心がある人を紹介
- 日本での仕事と生活の経験

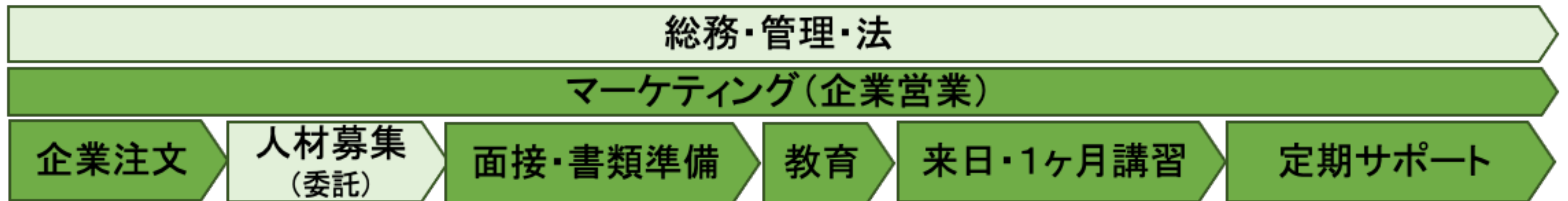


## どうやって

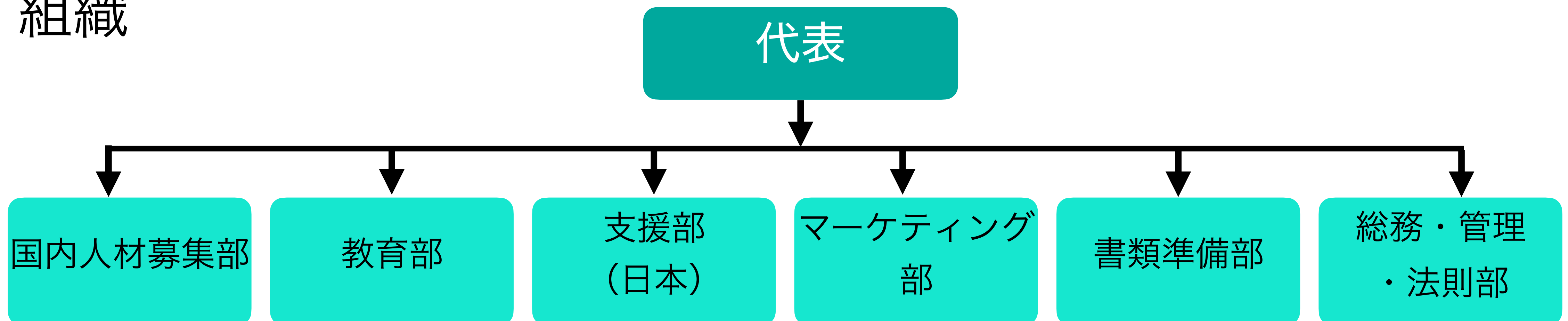
- SNSで人募集して面談→教育
- 日系企業：紹介及び口込み

# 事業コンセプト

オペレーション（仕入⇒注文・募集⇒書類準備⇒教育⇒サポート等）



## 組織



# 人材事業が発足するまで

創業者が広島大学で出会った

2017年 広島大学

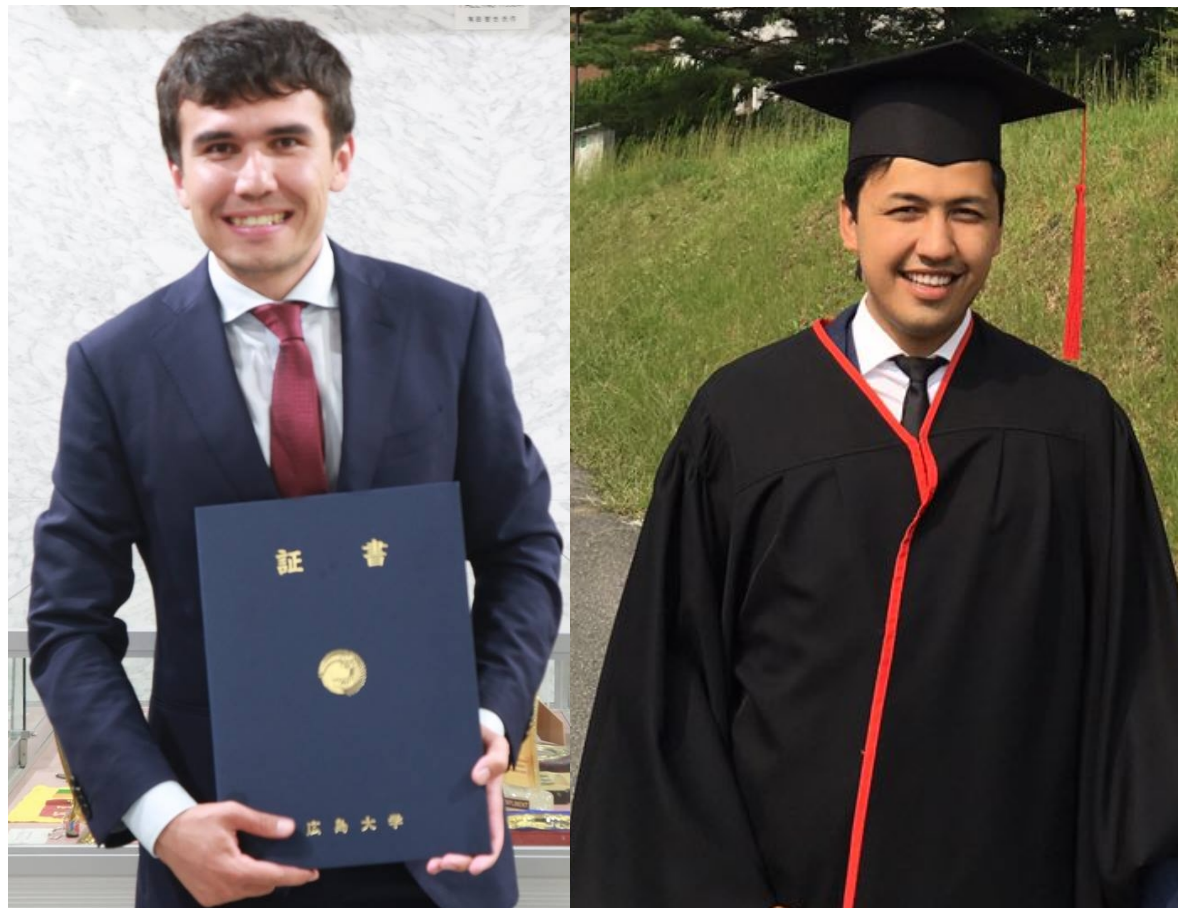


2019年01月

日・ウ二国取決め  
(技能実習生)



2017年12月  
夢学校設立



2019年02月  
MIGO設立  
(送り出し機関)





# VISION

これから日本の人材市場が大きく変化し、外国人としてチャンスが広がっていくこと 母国で新しいチャンスを探してる若いものの数が多いこと。

2025年まで五千人のウズベク人を送りたい

# この事業がそれぞれの国に及ぼすメリット

## ウズベキスタン側のメリット

- 日本の技術・サービスを勉強し、自国の技術・サービスの向上を行える
- 日本式の合理的な生産方式を学ぶことで、世界でも有数な生産国となれる
- 技術・サービス向上により、安定した投資を求めることができる
- 日本の企業人が持つ勤勉な仕事文化を吸収できる
- 日本に滞在することで、テレビではわからない日本の良さを経験できる
- 文化の違いや、歴史の違いを考え、自国にあったローカライゼーションを促せる
- 

## 日本側のメリット

- 日本式の技術が基礎となり、日本企業の進出を促すこととなる
- 自国以外で、ユーラシア大陸の真ん中に同種の生産拠点を開発しやすくなる
- 市場としても、生産拠点としても投資対象として組みやすい
- ウズベキスタンに同じ価値観を持つ企業風土が根づく
- より多くの人々が日本で文化や慣習を得ることで、本質的な文化が伝えられる
- ウズベキスタン人と交流する中で、より深い文化的、歴史的背景を理解できる



ありがとうございました

[info@migoconsulting.uz](mailto:info@migoconsulting.uz)  
[www.migoconsulting.uz](http://www.migoconsulting.uz)